

村井シークス財団 第2期奨学生募集のご案内

2026年3月2日

一般財団法人 村井シークス財団

1. 財団概要
2. シークス株式会社 会社概要
3. シークスの沿革
4. 海外拠点/GLOBAL NETWORK
5. 設立趣意書
6. 財団役員
7. 2026年 度奨学生募集について
8. その他補足事項
9. 昨年の活動実績
10. 資料のご送付について

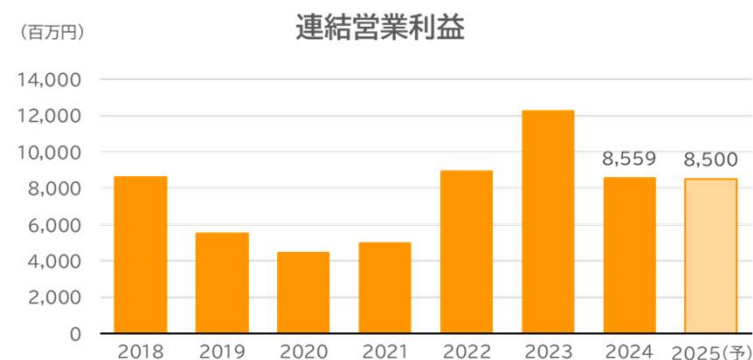
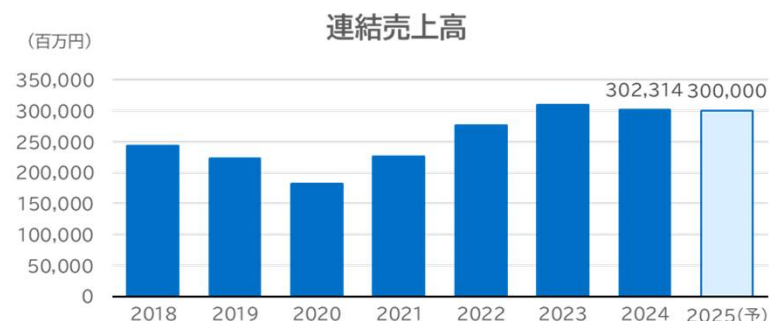
1. 財団概要

名称	一般財団法人 村井シークス財団
所在地	大阪府中央区備後町1丁目4番9号 シークスビル (当社 本社所在地)
設立者	村井 史郎
代表理事	丸山 徹(シークス株式会社 COS代表取締役専務)
設立日	2024年7月17日
事業内容	奨学金給与事業 (1) 日本からASEAN地域の大学および大学院に留学する奨学金の給与 (2) ASEAN地域から日本の大学および大学院に留学する奨学金の給与 (3) その他、本財団の目的を達成するために必要な事業
事業開始時期	2025年4月より奨学生募集開始

2. シークス株式会社/会社概要



社名	シークス株式会社（英語名：SIIX Corporation）
業種	電子機器・部品商社、電子機器受託製造(EMS)
設立	1992年7月1日
資本金	2,144百万円
所在地	大阪本社(大阪府中央区備後町) 東京本社(東京都千代田区九段南) 名古屋営業部(愛知県名古屋市中村区)
上場市場	東京証券取引所プライム市場（証券コード:7613）
本社従業員数	377名(子会社等への出向者を含む) [ご参考] 単体 228名 連結 9,538名(2024年12月末時点)
事業所	海外拠点 23社(工場 10社、販社13社) 国内拠点 3社(本社、工場、CDMO事業)(2024年12月現在)
認証取得	ISO9001、ISO14001、ISO27001、IATF16949、 ISO13485 等(子会社取得分含む)
大株主、持株比率	サカティンクス株式会社 21.45% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 7.76% 自社株 6.57% 有限会社フォーティ・シックス 4.76% 株式会社りそな銀行 4.31% 株式会社三井住友銀行 4.29%



3. シークスの沿革

事業展開

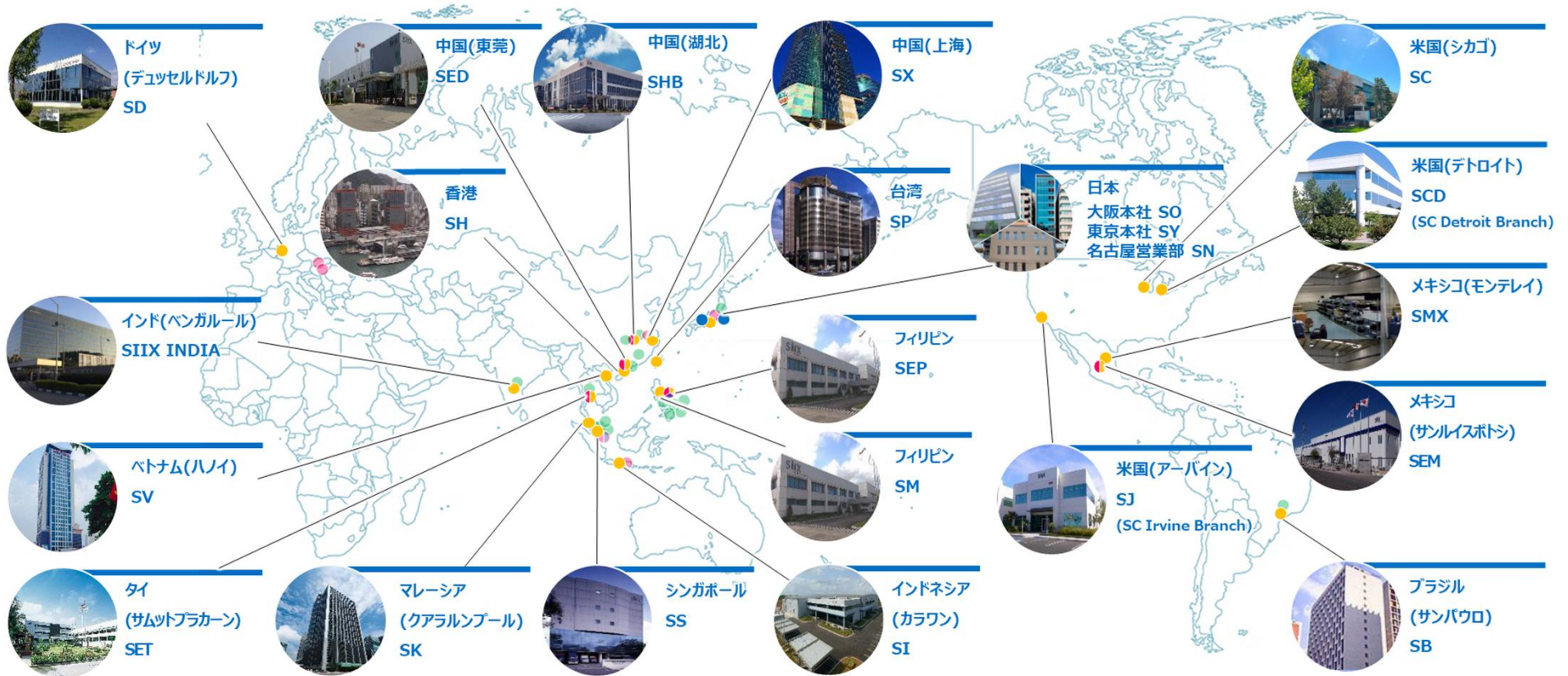
1957年	阪田商会(現・サカタインクス)貿易部に輸出係を設置 フィリピン向けに日本製電子部品の輸出を開始	
1960年代	電子楽器製造会社に資本参加、同社製品の輸出を担当 フィリピン向けにオートバイ、化学品、輸送機械等の輸出を開始 フィリピンに初の合併会社を設立し、オートバイ・化学品の販売を強化	
1970年	電子オルガンのOEM生産、輸出を本格化	
1974年	米国ハモンド社との合併でハモンド・インターナショナル・ジャパンを設立	
1977年	現地資本、川崎重工業と合併で、オートバイの組立生産を開始	
1979年	シンガポールで当時としては画期的な三国間貿易を開始 シンガポールに合併会社を設立し、基板実装事業を開始。当社EMS事業の先駆けとなる。	
1982年	パナファコム社の販売代理店となり、欧州を中心にパソコンの海外販売を開始 サカタブランドのCRTモニターの海外販売開始	
1988年	タイで基板実装事業を開始(現在の当社主力工場となる)	
1990年	フィリピンで合併会社を設立し、自動車用ワイヤーハーネスの生産を開始	
1992年	サカタインクスから分社独立、サカタインクスインターナショナル設立	
1993年	中国広東省で合併にて基板実装事業を開始(現在の東莞工場に至る)	
1994年	インドネシア・パタムで基板実装事業を開始(現在のパタム工場に至る)	
1996年	日系大手車載電装品メーカー向け部品販売開始。 以後、タイ、中国、アメリカ等で車載関連ビジネスが拡大し当社の主力分野に	
1997年	欧州携帯電話メーカー向け液晶モジュールの生産を開始。	
1998年	シークス株式会社に社名変更	
1999年	大阪証券取引所市場第二部に上場	
2000年	半導体設計開発会社を設立、 携帯電話液晶駆動用ICの開発製造事業を開始(2005年3月売却)	
2000年	東京証券取引所市場第二部に上場	
2001年	中国・上海、スロバキアに合併会社を設立し、EMS事業を開始 日系大手車載電装品メーカー向けVMIサービス開始	
2002年	タイ工場にて車載機器のEMS事業を開始	
2005年	東証、大証第一部に指定	
2007年	タイにロジスティックセンターを開設	
2009年	回路基板実装の新工法で特許取得	
2011年	iWOW Technologies Pte. Ltd.に出資	
2012年	ST Electronics(Info-Comm)と業務提携、 会社設立20周年	
2015年	美的集団中央空調事業部との合併で、Guangdong MIDEA SIIX Electronics, Co., Ltdを設立	
2017年	美的集団中央空調事業部との合併で、Hefei MIDEA SIIX Electronics, Co., Ltdを設立	
2022年	東京証券取引所プライム市場に上場、 創業65周年、会社設立30周年	
2023年	美的集団中央空調事業部との合併で、Jingzhou Midea-SIIX Electronics Co.,Ltdを設立 シンガポール科学技術研究院(A*STAR)およびSIIX-AGT MEDTECH Pte Ltdとの合併でBotMind Pte. Ltd.を設立	
2024年	Renzoku社へ出資し、バイオ抗体医薬品のCDMO事業に参入	

拠点展開

1957		
1960s	1960年	マニラに初の駐在員事務所を開設
	1963年	バンコクに駐在員事務所を開設
	1964年	香港に駐在員事務所を開設
	1968年	シドニーに駐在員事務所を開設(2001年閉鎖)
1970s	1970年	台湾に駐在員を配置、ロサンゼルスに駐在員事務所を開設、シカゴに販売子会社を設立
	1972年	シンガポールに駐在員事務所を開設
	1973年	サンパウロに駐在員事務所を開設(同年、現地法人化)、デュッセルドルフに販売子会社を設立
1980s	1974年	シンガポールに販売物流子会社を設立
	1975年	香港駐在員事務所を法人化
1990s		
1992	1996年	上海に連絡事務所を設置
	1997年	フィリピンに販売物流子会社を設立、台湾に販売子会社を設立
	1999年	インドネシア領パタム島に製造子会社を設立、上海に販売子会社を設立
2000s	2000年	ソウルに駐在員事務所を開設(2007年1月閉鎖)、タイの合併製造会社を100%出資子会社に
	2002年	中国広東省・東莞に100%出資の製造子会社を設立
	2005年	スロバキアの合併製造会社を100%出資子会社に
	2006年	インドネシアの製造子会社2社を合併、
	2007年	中国・大連に、上海の販売子会社が分公司(支社)を設立
	2008年	メキシコに米国販売会社の物流子会社を設立 アメリカのU.S.A. ZAMA, Inc. の発行済株式数60%を取得、連結子会社に(2012年12月売却)
	2009年	中国広東省・東莞に販売物流子会社を設立
2010s	2010年	神奈川県相模原市に国内初の製造子会社を設立
	2012年	インドネシア・ジャカルタに100%出資の製造子会社を設立
	2013年	上海に製造合併会社を設立、インドネシアに販売子会社を設立
	2013年	フィリピンに100%出資の製造子会社を設立、メキシコに100%出資の製造子会社を設立
	2014年	フィリピンにプラスチック成形・金型製造の合併会社を設立 名古屋営業部を名古屋市中区栄に開設
	2015年	二本社制導入。(大阪本社、東京本社)、SIIX-AGT MEDTECH PTE LTDを設立
	2016年	デトロイト営業部開設、ハンガリーに100%出資の製造子会社を設立
	2017年	中国・湖北省に100%出資の製造子会社を設立、ベトナム ハノイ市に販売子会社を設立
	2019年	マレーシア クアラルンプール市に販売子会社を設立
	2021年	タイの販売子会社と製造子会社を経営統合 SIIX-ORIENT TECHNOLOGY PTE. LTD.を設立
	2023年	フィリピンの販売子会社、製造子会社、金型成形子会社を経営統合
	2024年	インド・ベンガルールに販売子会社を設立、Innominds社と合併会社を設立

4. 海外拠点/GLOBAL NETWORK

● 営業・物流拠点



4. 海外拠点/GLOBAL NETWORK

● 製造拠点

(2023年12月末現在)



工場概要凡例

- ・建物延床面積
- ・従業員数
- ・主要生产品目
- ・ISO取得状況

4. 海外拠点/GLOBAL NETWORK

● 協力工場・その他



5. 設立趣意書

今日、わが国のみならず、世界中の各国において、有為な人材の育成が、従来に増して、ますますクローズアップされています。

中でも、ASEAN地域(東南アジア諸国連合)は、世の中で最も成長ポテンシャルの高いエリアの中の1つであり、日本とこの地域を基盤に、グローバルネットワークを構築し、変わりゆく時代の波を敏感にキャッチし、世界のリソースを有効活用し、世界のあらゆる分野のニーズとシーズをオーガナイズすることで、社会システムの活性化と人類の進歩に貢献することができるグローバル・オーガナイザーとして活躍する有為な人材の育成が世界規模で望まれているところです。

同時に、そういった人材には、普遍的な「人間性」と家族を超えるような「人間関係・信頼関係」を構築できる能力も兼ね備えることも求められています。

シークス株式会社およびその創業者 村井史郎は、その創業期から育んできたこのような理念に基づき、ここに 村井シークス財団を設立し、日本とASEAN地域において、自由な気風と湧き上がる好奇心を持つ有望な若手人材を育成し、彼らが将来性のある分野に携わり、世界的なリーダーとして活躍できるように支援することで、わが国および世界中の経済、産業ならびに文化の発展に寄与せんとするものであります。

この目的を達成するための当法人の事業概要は、①日本からASEAN地域へ留学する優秀な大学生および大学院生に対する奨学金の支給、②ASEAN地域から日本に留学する優秀な大学生および大学院生に対する奨学金の支給を行なうものであります。

シークス株式会社および創業者 村井史郎は、その拠出資金により、本目的が遂行され、日本および世界中の経済、産業ならびに文化の水準向上に、いささかでも寄与することができれば、欣快の至りとするところであります。

何とぞ本奨学金支給事業の意のあるところを関係各位のご理解を賜り、ご賛同ご支援をお願いする次第であります。



村井史郎(村井シークス財団 設立者)

6. 財団役員

※黄色網掛 …… SIIX関係者

項目		内容	
評議員	6名	① 大森 進 (シークス社外取締役)	② 葛葉 千美 (親族)
		③ 高谷 晋介 (シークス社外取締役)	④ 橘 正喜 様 (三井住友ファイナンス&リース)
		⑤ 成田 学 様 (銀泉)	⑥ 三浦 州夫 様 (顧問弁護士)
理事	5名	① 丸山 徹 (シークス)	② 海堀 哲也 様 (RC/朝日ウッドテック)
		③ 木村 雅彦 様 (RC/西大阪スペース)	④ 四宮 孝郎 様 (RC/辰巳興業)
		⑤ 平田 智仁 様 (顧問弁護士)	⑥ 井口 富紀子 (シークス)
監事	2名	① 大野 精二 (シークス)	② 掛川 雅仁 様 (税理士)
選考委員	3名	① 神田 修悦 様 (関西外国語大学)	② 津本 浩平 様 (東京大学)
		③ 成田 静香 様 (関西学院大学)	
事務局	1名	① 井口 富紀子 (シークス)	

7. 2026年度奨学生募集について

ASEAN地域から日本、また日本からASEAN地域の大学および大学院に正規留学する学生への奨学金の給与を予定しております。将来、日本のみならず世界経済産業ならびに文化の発展に寄与することを目的といたします。

本奨学金の特徴

- (1) 奨学金は給与とし、返済の義務はありません
- (2) 世帯年収の制限はありません
- (3) 奨学生の卒業後の就職、その他一切については本人の自由とします
- (4) 他の奨学金との併用に関する考え方は下記のとおりです

貸与型奨学金 … 併用可

返済不要の給付型奨学金 … 併用不可(ただし、海外留学支援の奨学金は併用可)

大学内での授業料減免制度、それに準ずる少額の奨学金制度 … 併用可

対象となる学生

- (1) ASEAN加盟国(インドネシア・カンボジア・シンガポール・タイ・フィリピン・ブルネイ・ベトナム・マレーシア・ミャンマー・ラオス・東ティモール)の国籍を有し、在留資格「留学」を有する大学生または大学院生。日本国籍を有し、ASEAN加盟国の大学へ留学する大学生または大学院生
- (2) 向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正であるもの
- (3) 国際親善に理解を持ち、貢献を期するもの
- (4) 日本語または英語でレポートが可能なこと
- (5) チャレンジ精神が旺盛で国際感覚をもつもの
- (6) 財団の活動に積極的に参加し、協力するもの

7. 2026年度奨学生募集について

採用人員

最大40名予定(ASEANから日本、日本からASEAN、両奨学生の合計数)
※各大学様からのご推薦は5名までにてお願いいたします

奨学金の額と給与の方法

- (1) 給与金額 **月額10万円**
- (2) 給与期間 奨学生に採用した年度の**1年間を基本**とし、**更新は2回を限度**とします
ただし、各学年の進級時に応募資格に沿ってレポート提出による適正検査を行い、継続の可否を決定します
※継続も可能可能ですが、原則はより幅広く、多くの方へ機会を提供したいと考えておりますのでご理解賜りたくお願いいたします
- (3) 給与方法 原則として、**6月・9月・12月・3月**に**各3か月分をまとめて直接本人に給与**します
(本人名義の日本国内の銀行等の預金口座に入金します)

奨学金の休止・停止・廃止

奨学生が退学や休学をしたとき、また長期の欠席の場合、留学が中止・大幅な期間短縮になった場合。また、学業成績や性行が不良となる場合には奨学金の休止・停止・廃止を行う場合があります
(交換留学で海外へ渡航の場合は休止)※詳細については別途お渡しする規程をご参照ください

7. 2026年度奨学生募集について

ご提出書類

- ① 在学する学校長もしくは担当教官の推薦書(学校所定の用紙)
- ② 在学する学校の学業成績証明書
- ③ 在留カードの写し、パスポートの写し
- ④ 奨学金を申請する理由書
- ⑤ 本人の履歴書
- ⑥ 誓約書
- ⑦ 奨学金振込口座 預金通帳写し(日本の銀行名・支店名・口座番号・名義人)

提出方法

本人が上記の書類を揃えたうえ、大学事務局を通じて本法人宛てに Web申請をおこなう

7. 2026年度奨学生募集について

提出期限

2026年4月20日(月)

※ご都合が悪い場合はご相談ください

提出先(連絡先)

〒541-0051

大阪府中央区備後町一丁目4番9号

一般財団法人 村井シークス財団 事務局

TEL:06-6266-6413

E-mail:MS-zaidan@siix-global.com

奨学生の決定

- (1) 奨学生の決定は、本法人の選考委員会の選考を経て理事会が行い、その結果を本人に通知します。また、大学奨学金事務局様にもご連絡をいたします。
- (2) 選考の経過および決定の理由は公表しません。
- (3) お送りいただいた書類は返却いたしません。

8. その他補足事項

- **学業成績証明書と対象学生**

各ご出身国での成績証明書は書式、内容、言語が様々ですので、その内容をもって選考を行うことが難しいと考えます。そのため、学部2年生以上もしくは4月以降の入学等で、応募締切りまでに前期(直近期)の成績表を提出できる方を対象とさせていただきたくお願いいたします。大学院につきましては日本の大学の成績証明を提出できる場合は1年生から申請可能といたします。

- **誓約書における保証人欄**

外国人留学生の場合、ご家族が日本国内にいらっしゃらないケースが大半となりますので、緊急連絡先として、ご友人や場合によっては大学の事務局でも差支えないと考えております。もちろん、日本国内にご親戚がいるなどの場合は、その方でも構いません。

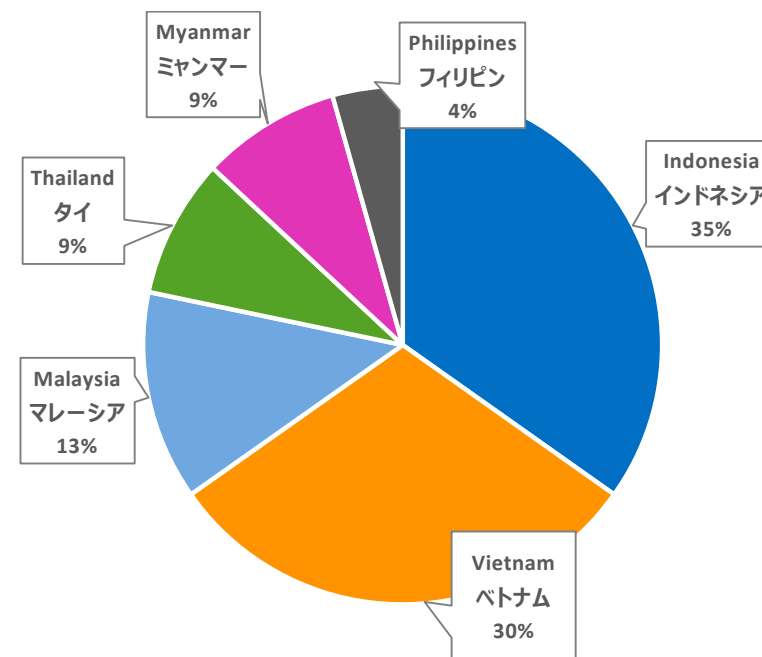
- **奨学金給付後の奨学生の義務について**

財団事務局より、学生生活における取組状況等の確認を目的としたレポート提出や財団のイベントへの参加依頼などを行う場合があります。その際には遅滞なく対応いただくことをお願いしております。遅延が頻発するばあは奨学金給付の停止を行う場合がありますのでご注意ください。

8. 昨年の活動実績

● 第1期の奨学生採用状況

第1期、2025年度の募集では23名の奨学生を採用いたしました。初年度はASEAN地域から日本への留学生を対象とし募集いたしましたところ、各出身国の比率は右記のとおりとなっております。優秀かつ意欲ある学生の学びの支援ができましたことを心より嬉しく思っております。



● 奨学生交流イベントの開催

また、昨年10月4日(土)には奨学生の懇親会を実施し、対面で21名、オンラインで2名と奨学生全員が一堂に会し、各自の学生生活について共有したり、テーマを設けてディスカッションを行いました。

本取組は奨学生のみなさんにも好評で、第2回は2026年3月14日(土)に実施予定です。



10. 資料のご送付について

今回ご説明いたしました資料については別途データ送付させていただきます。
募集要項や書式について、各大学様からのご意見をお伺いする中で見直しをかけておりますので、
変更が生じた場合は最新版について随時ご連絡いたします。

送付資料

- 1 村井シークス財団 奨学生募集のご案内
- 2 2026年度募集要項
ASEANから日本への留学生向け、日本からASEANへの留学生向け
それぞれに要項がございます。
- 3 申請書式
和文、英文の申請書式がございますので、いずれかをご使用ください。
大学指定の書式がある場合、には弊財団事務局までご相談ください

一般財団法人 村井シークス財団 事務局
TEL:06-6266-6411
E-mail:MS-zaidan@siix-global.com